



2022年2月10日

各位

会社名 株式会社エヌジェイホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 筒井 俊光
 (JASDAQ・コード9421)
 問合せ先
 役職・氏名 経営企画室長 野澤 創一
 電話 03-5418-8128

業績予想の修正及び特別損失の計上
 並びに役員報酬の一部自主返上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月12日付「2021年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2022年6月期の通期業績予想を修正するとともに、特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、役員報酬の一部自主返上につきまして、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年6月期通期(2021年7月1日~2022年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	12,820	350	340	190	35.90
今回修正予想(B)	11,490	△280	△290	△510	△96.36
増減額(B-A)	△1,330	△630	△630	△700	-
増減率	△10.4%	-	-	-	-
(ご参考)2021年 6月期実績	11,988	220	205	△92	△17.47

2. 修正の理由

ゲーム事業におきましては、売上高については、開発案件の中止が発生したことに加え、開発計画の見直しや遅れ等により当初の受注見通しを大きく下回っている状況にあり、新規開発案件の受注による収益寄与を第4四半期以降に見込むものの、運営収益の漸減傾向もあって、下期も上期並みの売上高で推移する見込みです。セグメント損益については、上記のとおり売上高が当初見通しを大きく下回る見込みとなるなか、外注費の見直し等による原価低減は当該下回り幅の半分程度に留

まり、セグメント損失（営業損失）となる見込みです。

モバイル事業におきましては、売上高については、販売台数の見通しに大きな変化はなく、概ね当初計画並みの水準となる見込みです。セグメント利益については、低料金プランの販売偏重による将来的な利益低下を防ぐため、新規契約の獲得に注力するなかで、1顧客あたりの販売利益額が低下していることから、当初見通しをやや下回る見込みです。

以上により、通期業績予想については、売上高は、11,490百万円、営業損益及び経常損益は、それぞれ280百万円の営業損失及び290百万円の経常損失となる見込みであり、親会社株主に帰属する当期純損益については、下記「3. 特別損失の計上」により、510百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となる見込みです。

3. 特別損失の計上

当社の連結子会社である株式会社トライエースの株式取得時に発生したのれんについて、同社の業績が当初策定の計画を大きく下回ったことから、今後の事業計画を見直し、回収可能価額について慎重に検討した結果、のれんの未償却残高の全額を減損し、当第2四半期連結決算において、減損損失220百万円を特別損失に計上することといたしました。

4. 役員報酬の一部自主返上について

2022年6月期の通期業績予想の修正及び業績状況を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、下記のとおり、役員報酬の一部を自主返上することといたしました。

(1) 報酬返上の内容

代表取締役社長 月額報酬の20%を返上

(2) 報酬返上の期間

2022年2月から2022年9月までの8ヶ月間

※本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上